



学校だより

「たぶの木」



令和5年 1月
鹿児島市立武岡台小学校
児童数253名

ゴールに向かってホップ・ステップ！！

校長 榎 まゆみ



明けましておめでとうございます

令和5年が始まりました。今年は癸卯（みずのとう）の年です。

「癸」は、雨や露、霧など静かで温かい大地を潤す恵の水を表します。

十干の最後に出てくることから、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味するそうです。また「卯」は穏やかなうさぎの様子から、安全・温和の意味があるそうです。うさぎのように跳ね上がるということから、何かを開始するのに縁起がよく、希望にあふれ、好転するよい年になると言われています。

253人の子供たちのこれまでの頑張りが実を結び、新たな成長に向かって、大きく跳び上がる年になるよう願わずにはられません。



さて、令和4年度は、一人一人が「自分は何をどのようにしてがんばるか」めあてや目標を考え、それに向かって最後まであきらめずにがんばる子供、「自分の中の一等賞」をめざす子供の育成に取り組んで参りました。10日の始業式では「自分は目標に向かってがんばって来られたか。今からできることは何があるか今一度考え、一年のまとめの学期として取り組みましょう。」と話しました。

3学期は53日（5年生は54日）と大変短い学期です。しかし、「53日しかない」のではなく「まだ53日ある」との思いで、最後まで思い描いた自分になる努力を続けてほしいと思います。

私たち教職員も残りの日々を「子供たちのためにできることはすべてやる！」という気概をもって取り組んでまいります。

1月の和名は「睦月」。親戚一同仲睦まじく正月を過ごすことが由来との説もあります。学習や生活のまとめと次の学年へ備える大切な3学期を、子供たちが仲睦まじく、互いを思いやり、武岡台小のよさを仲間の大切さを再認識しながら過ごす3学期にしてほしいと願います。

3学期も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。